

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【シマハギ／Convist Tang】

ニザダイ科・クロハギ属 *Acanthurus triostegus*

チャモロ語：キツ kichu



タモン湾全域に生息しています

ニザダイの仲間、サンゴの近くで見られることが多く、主に海草を食べます。

英語でニザダイは「サージェオン・フィッシュ」と呼ばれていて、サージェオンは外科医の意味。

尾柄部（しりびれの後端から尾びれの付け根までの部分）の鋭いトゲをメスに見立てています。

### 【ムラサメモンガラ／Picasso Triggerfish】

モンガラカワハギ科・ムラサメモンガラ属 *Rhinecanthus aculeatus*

チャモロ語：プロヌン Pulonnun



一見ピエロのようにも見えるこの魚、英語では「ピカソ・トリガーフィッシュ」と呼ばれています。

とてもカラフルなのが特徴でタモン湾全域で見ることができます。砂地や砕けた岩の隙間に生息しています。

ただし、この魚を見る時は近寄らず、遠くから見るようにしましょう。

愛嬌のある外見とは違い、特に稚魚は攻撃的です。巣を守るためには人に噛み付くこともありますので気をつけてください。

### 【ネズミフグ／Porcupinefish】

ハリセンボン科・ハリセンボン属 *Diodon hystrix*

チャモロ語：ブテテン・ティトゥカ Buteten Tituka



沖合よりのサンゴ礁に生息し、茶系の体にある黒いはん点とヤマアラシのようなトゲがあります。

日中は大体岩かげや穴に隠れてじっとしています。夜になると活動的になり、ウニやヤドカリを食べます。

ネズミフグは、危険を感じると体をふくらませてトゲで覆われたボールのようになります。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【クロナマコ／Sea Cucumber】

クロナマコ科・クロナマコ属 *Holothuria atra*

チャモロ語：バラテ Balate



タモン湾に多く見られるクロナマコですが、グロテスクな外見に反し、実は綺麗な海には 欠かせない大切な存在です。

クロナマコは、砂の中の有機物や藻を食べ、きれいな砂を吐き出しています。

タモン湾が 綺麗なのは、このナマコたちの活躍のおかげでもあります。

### 【クモウツボ／Snowflake Moray Eel】

ウツボ科・アラシウツボ属 *Echidna nebulosa*

チャモロ語：ハックマン Hakmang



ウツボ類の中でも最も数が多く、礁原（サンゴ礁の海底付近）の隙間に生息します。

浅いラグーン（礁湖）や海よりのサンゴ礁にも生息します。

普段は全身を隠していますが、引き潮時には潮溜まり（潮が引くとできる小さな池のような水溜まり）の合間を泳ぎます。

主にカニを食べます。

### 【テングハギ／Bluespine Uniformfish】

ニザダイ科・テングハギ属 *Naso uniornis*

チャモロ語：タタガ Tataga'



沖合よりのサンゴ礁や海峡、溝や海流の強い場所に生息します。

ワカメなどの海草を主に食べます。

英語では「ユニコーン・フィッシュ」と呼ばれ、口と平行にそびえるツノが特徴です。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【ノコギリダイ／Yellowspot Emperor】

フエフキダイ科・ノコギリダイ属 *Gnathodentex aurolineatus*

チャモロ語：サリガイ *Saligai*



礁原（サンゴ礁の海底z）やラグーン（礁湖）、沖合よりのサンゴ礁に生息しています。

尾に近い背びれの根本にある黄色く目立つはん点が特徴。

日中は何百匹という単位で群れを作りサンゴの間でじっとしています。

夜になると活動的になり、カニや魚を食べます。

### 【デバスズメダイ／Blue Green Chromis】

スズメダイ科・スズメダイ属 *Chromis viridis*

チャモロ語：フォムホ *Fomho'*



タモン湾の中心部にあるサンゴ礁の合間や、コエダミドリイシという枝サンゴが 群生する場所に群れで生息しています。

宝石のようにキラキラと光る青緑色の体の特徴。

サンゴ礁から離れた小さなサンゴ近辺をよく観察すると、デバスズメダイの稚魚が見られることもあります。

### 【アオヒトデ／Blue Starfish】

ホウキボシ科・アオヒトデ属 *Linckia laevigata*

チャモロ語：キルウス・タシ *kiluus Tasi*



アオヒトデは簡単に見つけることができます。

サンゴ礁の生態系に重要な役割を果たしていますので、観察する時は優しく取り扱うようにしましょう。

チャモロ語では、「海の十字架」という意味です。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【クロハマクマノミ/Dusky Anemonefish・Clownfish】

スズメダイ科・クマノミ属 *Amphiprison melanopus*

チャモロ語：フォムホン・ガデュドッグ Fomhon Gadudok



マリアナ近郊の海でもっともたくさん見られるクマノミです。

ウスカワイソギンチャクの群れの中にしか住みません。

どの種類のクマノミにも、それぞれお気に入りのイソギンチャクがあり、共存しています。

産卵は通常満月の時期に行われ、メスが何百個という卵を産み、オスは攻撃的になり卵を守ります。

### 【ハナナガスズメダイ/Farmer Fish】

スズメダイ科・クロソラスズメダイ属 *Stegastes lividus*

チャモロ語：フォムホ Fomho



自分のなわばりに生える海草を育てて食べるため、英語では「ファーマー（農夫）フィッシュ」と呼ばれています。

他の魚や人間からなわばりを守り、近づきすぎると、唸って威嚇（いかく）するので注意しましょう。

### 【ミスジリュウキュウスズメダイ/Humbbug Damselfish】

スズメダイ科・スズメダイ属 *Chromis viridis*

チャモロ語：フォムホ Fomho'



この小さな白黒の魚はタモン湾全域で観察できます。

コエダミドリイシという枝サンゴが群生する場所を好みますが、他のサンゴ近くでも 見ることができます。

サンゴ礁の周りを注意深く観察すると、サンゴから顔を覗かせている様子が見えます。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【トゲチヨウチヨウウオ／Threadfin Butterflyfish】

チヨウチヨウウオ科・チヨウチヨウウオ属 *Chaetodon auriga*

チャモロ語：アババン Ababang



この美しい魚は2匹ペアで泳いでいることが多く、タモン湾全域の浅いサンゴ礁で見ることができます。

2匹は一生同じペアで過ごすことがほとんどです。

イソギンチャクやサンゴのポリープ、藻などを食べるためにサンゴの周りを泳いでいます。

### 【ミツボシキュウセン／Threespot Wrasse】

ベラ科・キュウセン属 *Halichoeres trimaculatus*

チャモロ語：アアガ A'aga



タモン湾全域の砂地に生息しています。

ヒメジなど、より大きな魚の後をつけ、舞い上がった砂の合間でエサの残り物にあやかります。

もしかしたら、あなたの後ろについて泳いでいるかも！？

### 【ニジハギ／Blue-banded Surgeonfish】

ニザダイ科・クロハギ属 *Acanthurus lineatus*

チャモロ語：ヒゾック Hyok



青・黄・黒の横シマ模様が特徴。通常は、波や海流の強い沖合に生息しています。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【アカマツカサ／Bigscale Soldierfish】

イトトウダイ科・アカマツカサ属 *Myripristis bernadti*

チャモロ語：サクサク Sak Sak



夜行性で、日中は群れでタモン湾に広がるサンゴの下や洞穴に隠れています。

### 【シラナミガイ／Elongate Giant Clam】

シャコガイ科 *Tridacna maxima*

チャモロ語：ヒマ Hima



タモン湾に生息するものは一般的に 35 センチくらいまで成長します。

藻などがついて、表面はカラフルな色になります。

成長するためには日光が不可欠で、水深が浅い場所にある岩やサンゴの合間で観察することができます。

### 【ミヤコテングハギ／Orangespine Unicornfish】

ニザダイ科・テングハギ属 *Naso lituratus*

チャモロ語：ハゴン Hangon



ミヤコテングハギにはツノはありませんが、カラフルな黄色の模様が目の回りにあります。

サンゴ礁や岩、沖合近くに生息しています。

仲間のテングハギ同様、ワカメなどの海草を主に食べます。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【枝サンゴ・コエダミドリイシ/Staghorn Coral】

ミドリイシ科・ミドリイシ属 *Acropora Virgata*

チャモロ語：Cho' Cho



この種類の枝サンゴは大変綺麗ですが、壊れやすいのが特徴です。

砂地に生息していて、枝が互いにもつれあっているのが、魚や他の海の生物が生息するのに最適な空間となっています。

### 【アミアイゴ/Scribbled Rabbitfish】

アイゴ科・アイゴ属 *Siganus spinus*

チャモロ語：マニャハック Manahak



タモン湾に生息するアイゴ類の中で、最も多く見られる種です。

礁原（サンゴ礁の海底付近）や海草、サンゴ、砂利などがある浅いラグーン（礁湖）に生息します。

4月から5月の下弦の月（満月と新月の間）の期間には、大きな稚魚の群れが礁原を移動します。

漁師は、今でも古代チャモロ人が編み出した方法（投げ縄）で、漁を行っています。

## タモン・ベイ・シーライフ・パーク

### 【オニダルマオコゼ／Stonefish】

オニオコゼ科・オニダルマオコゼ属 *Synanceia verrucosa*

チャモロ語：ヌフ Nufu



### 注意！この魚は大変危険です！

世界でも最も毒性の強い魚の一つとして知られています。絶対に近づかないようにしましょう！

イボ状の体にはたくさんのトゲがあり、トゲの根元には毒が入った袋があります。

この魚に刺されると、激しい痛みを襲われ、重傷を負ったり、さらに深刻な症状に陥る場合もあります。

幸い、大きな岩や、大きくて丸い岩のようなサンゴの上に生息することが多いので、人間が踏む可能性は低いのですが、一見岩のように見えるので注意しましょう！